

ネットワークポリマー特集号への投稿募集

高分子に分岐構造を導入することで形成される三次元網目構造は、総称してネットワークポリマーと呼ばれます。ネットワークポリマーはゲルやエラストマーなどを含み、高分子および溶媒種の組み合わせで広範囲にその物性を設計することができるのが大きな特徴です。ネットワークポリマーは、しばしば液体である溶媒成分がその組成の大部分を占めるにもかかわらず、網目状分子に由来した固体としての性質を見せます。この特異な物性は、学術分野において注目を集めているだけでなく、医療、化粧品、食品などの幅広い産業分野において応用展開が図られています。近年の特筆すべき成果である高強度ゲルや自己修復ゲル・エラストマーは、その動的な架橋点などの変形下におけるユニークな分子運動に起因しています。このような分子運動を、科学の言葉で表現するために有効な方法論の一つがレオロジーであることは、間違いありません。この特集号では、ネットワークポリマーの基礎物性から応用まで幅広い内容について、最新の成果を紹介したいと考えております。多数のご投稿を頂けますよう、お願いいたします。

発刊予定月：2019年4月15日（月）

予定巻号：日本レオロジー学会誌 47 巻 2 号

原稿提出方法：Web投稿サイトよりご投稿ください。

<https://mc.manuscriptcentral.com/jsrj>

*本文に「ネットワークポリマー特集号」と明記してください。

投稿規定：日本レオロジー学会ホームページをご覧ください。

<http://www.srj.or.jp/pdf/toukoukitei.pdf>

原稿締切：2018年11月16日（金）

問合せ先：酒井崇匡 東京大学 E-mail: sakai@tetrapod.t.u-tokyo.ac.jp